

令和8年度シラバス(国語)

学番22 県立阿賀黎明高等学校

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	2単位	学年(学類)	1学年
使用教科書	『高等学校 標準 改訂版 言語文化』(第一学習社)				
副教材等	『力をつける言語文化』(数研出版) 『古典文法クリアノート』(尚文出版)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。</p> <p>②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。</p> <p>③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①あらゆる進路に対応できるカリキュラムを設定します。</p> <p>②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。</p> <p>③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。</p> <p>④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走しながら探究するプロジェクト学習に取り組みます。</p>

2 学習目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

3 指導計画

月	単元	教材又は項目	領域	学習活動(指導内容)	評価方法	時間
4	随想を読む	わたしの好きな季語 川上弘美	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 季語をテーマとして書かれた随想を読み、身近な言語文化に親しみを持つ。 随想という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 	発問評価 指名音読 定期考査 振り返りシート	4
	古文入門	古文の学習	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 文章の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 	振り返りシート	0.5
		「児のそら寝」 (宇治拾遺物語) 古文を読むために1	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 古語辞典の使い方に慣れるとともに古語と現代語の違いを理解する。 品詞について確認し、動詞の活用(正格活用)について理解し定着を図る。 積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明する。 	発問評価 指名音読 小テスト・定期考査 振り返りシート	2.5
5	漢文入門	漢文の学習	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 文章の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 ※1学期中間考査 	発問評価 指名音読 小テスト・定期考査 振り返りシート	0.5
		訓読に親しむ(一)～(三) 漢文を読むために1～3	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識として、訓点や助字、再読文字の種類と読み方を習得する。 故事成語や格言に表されるもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	発問評価 指名音読 小テスト・定期考査 振り返りシート	2.5
6	小説を読む(一)	とんかつ 三浦哲郎 文学のしるべ	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 小説表現の豊かさを学び、読書生活に反映させる。 作品の内容を踏まえて、主人公のその後を想像し、自分の考えを文章にまとめる。 	発問評価 話し合い 定期考査 提出課題 振り返りシート	5
	古文に親しむ	「なよ竹のかぐや姫」 (竹取物語)	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 辞書を引きながら、部分的に現代語訳ができるようにする。 動詞の活用(変格活用)、形容詞、形容動詞について理解し、定着を図る。 作品や当時の風習などを踏まえ、内容の解釈を深める。 『竹取物語』の派生作品について積極的に調べ、学習課題に沿って発表に取り組もうとしている。 ※1学期末考査 	発問評価 指名音読 話し合い 小テスト・定期考査 振り返りシート	5
7	故事成語	「五十歩百歩」(孟子) 「蛇足」(戦国策)	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 置き字や助詞・助動詞に注意して正確に書き下し文を書く。 作品や文章が成立した歴史的背景などを踏まえ、内容の解釈を深める。 「百獸」「虎」「狐」が何を例えているかを、解説を参考に積極的に考える。 	発問評価 指名音読 小テスト・定期考査 振り返りシート	4
		〔言語活動〕 故事成語の由来と意味を調べる	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 課題に応じて調査し、レポートを作成する。 	発表・報告・調査とまとめ 振り返りシート	2
8	随筆を読む	『徒然草』 「高名の木登り」	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 過去の助動詞について理解し、定着を図る。 	発問評価 指名音読 話し合い 定期考査 振り返りシート	2
9	随筆を読む	『枕草子』 「うつくしきもの」	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 自由に書かれた随筆を読み、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、もの見方・考え方を理解する。 自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉える。 完了の助動詞について理解し、定着を図る。 	発問評価 指名音読 定期考査 振り返りシート	3
		〔言語活動〕 「～もの」という題で随筆を書く	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、随筆の表現の仕方を工夫する。 	発表・報告	2

9	漢詩の鑑賞	唐詩の世界 「静夜思」「送元二使安西」 「春望」 漢詩のきまり	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 定型詩の形式や押韻、対句について理解する。 唐詩を読み味わい、中国文学に対する関心を高める。 表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を鑑賞文で表現する。 	発問評価 指名音読 定期考査 振り返りシート	3
10	和歌による心の交流	『伊勢物語』 「東下り」	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 推量の助動詞の用法について理解する。 話の展開や構成を理解し、登場人物の行動や心情を読み取る。 歌物語では感動の中心が歌にあると理解し、内容や展開を的確に捉える。 古語辞典を積極的に活用し、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。 ※2学期中間考査 	発問評価 指名音読 小テスト・定期考査 振り返りシート	5
11	読み継がれる歴史	「先従隗始」(十八史略)	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 比較的に長い漢文に慣れ、正確に訓読できるようにする。 漢文の語彙や句形に注意して、正しく現代語訳できるようにする。 文章が成立した背景などを理解し、内容の解釈を深める。 中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句を正しく理解しようとする。 ※2学期末考査 	発問評価 指名音読 話し合い 小テスト・定期考査 振り返りシート	6
12	日記・紀行文を読む	『土佐日記』 「門出」	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 仮名で書かれた最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現の特色を理解する。 女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 	発問評価 指名音読 小テスト・定期考査 振り返りシート	5
1	小説を読む(二)	羅生門 芥川龍之介 文学のしるべ	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 	発問評価 指名音読 話し合い 小テスト・定期考査 振り返りシート	8
2	中国の思想	[言語活動] 読み比べる・今昔物語集	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 『羅生門』の典拠となった作品を読み、『羅生門』がどのように話を膨らませているかを読み取る。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 『羅生門』では、どのような要素を加えて話を膨らませているかを文章にまとめる。 	指名音読 発表・報告	2
2	中国の思想	『論語』	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のもの見方や考え方を理解する。 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ※学年末考査 	発問評価 指名音読 定期考査 振り返りシート	4
2	和歌の鑑賞	万葉・古今・新古今 古典のしるべ	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 調べや修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞のしかたを理解する。 和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 	発問評価 発表・報告・調査とまとめ 振り返りシート	2
3	和歌の鑑賞	短歌を訳す(俵万智)	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 和歌・短歌の翻訳にまつわる筆者の経験を記した文章を読んで、現代の言葉で和歌を書き換える。 自分の思いが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫して和歌を現代語に書き換える。 	指名音読 発表・報告	2

書くこと	読むこと		合計
	古典	近代以降	
8	45	17	70

「1単位時間は50分」

4 評価の観点の趣旨

観点	(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

5 評価方法

観点	(1) 知識・技能(30%)	(2) 思考・判断・表現(35%)	(3) 主体的に学習に取り組む態度(35%)
評価方法	発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告・調査とまとめ 小テスト・定期考査 振り返りシート	発問評価 話し合い 小テスト・定期考査 発表・報告・調査とまとめ 振り返りシート	話し合い 学習課題集の提出 読書レポート 定期考査 振り返りシート

6 担当者からの一言

「言語文化」は古文、漢文、現代の小説など創作された作品を扱う科目です。作者の作り出した世界を読み味わう中で、皆さんが積極的に発言したり、級友と議論したり、大きな声で音読したりして意欲的に取り組むことを期待しています。そして、高校の学習に必要な予習→授業→復習のサイクルを確立しましょう。